



子どもも大人も真剣です

**子ども防災教室**

7月29日(金)に「子ども防災教室」が開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大前は、内田公民館と福祉ひろばへ宿泊する防災合宿でしたが、今年は感染対策のため、宿泊なしで実施となりました。

防災のお話、防災クイズ、保健師による避難所での感染症と予防、メンタルケアのお話、避難所でできるレクリエーションが行われました。その後、ダンボールベッドとパティションの組立て、簡易トイレの体験は地区の大人と子どもたちとで協力して行いました。



令和4年9月1日現在

世帯数	990戸
人口	2,302人
男	1,152人
女	1,150人

子どもたちの感想の一部を紹介します。

ひなんする時に気をつけることなどがわかってよかった。家に一人でいた時に地しんが起きたらどうしたらいいかとかクイズをとおして知れてとてもよかった。なにもつかわずにできるあそびをやってみて楽しかった。

ダンボールベッドに座ったらこわれるかと思ったけど、あんがい2人ですわってもこわれずにじょうぶですごいと思いました。ひなん所でも何人もダンボールベッドにすわっても、ねてもじょうぶということが分かりました。

災害時に今日やったことが役立つといい。でも大きな災害が起きないでほしい。



ダンボールベッド組立て中

ダンボールベッド、パティションをくみだてることができた。話をきいたり、クイズをひなんのしかたや防災グッズは何をもってくればいいのかわかった。



命令ゲーム「みなさん」

大人も防災

◆地域ケア会議

7月14日(木)内田地区地域ケア会議が開かれました。「口腔ケアの大切さ！」をテーマに内田地区住民の口腔内の健康状況について高野保健師から説明が行われた後、横山信太郎歯科医師が日常生活と被災時の口腔ケアについて講演されました。

続いて「災害時、地域で何ができるか!」をテーマに城北地区徒士町町の取組みを三村洋氏、内田地区第7町会の取組みを工藤哲夫町会長、避難所について内田地区地域づくりセンター武井センター長からお話がありました。

◆内田地区防災部研修会

7月25日(月)内田地区避難所運営委員会主催の研修会があり、市危機管理課職員を講師に避難所の開設と運営について学びました。内田体育館・内田公民館避難所運営委員会の委員は、前町会長、前町内公民館長、内田地区地域づくりセンター職員、内田公民館職員、市避難所担当職員です。避難所担当職員は、普段はそれぞれの職場で勤務しているため、今回初めて委員同士が顔を合わせる機会となりました。

内田地区球技大会

7月10日(日)に内田地区球技大会が開催されました。今年も、実行委員会、各町会が検討した結果、感染対策を取ったうえで全ての競技が実施できました。

結果は次のとおりです。

◆軟式野球

- 優勝 第9町会
- 準優勝 第5町会
- 第三位 第2町会
- ◆ソフトバレーボール
- 優勝 第6町会
- 準優勝 第5町会
- 第三位 第3町会
- ◆ゲートボール
- 優勝 第5町会
- 準優勝 第3町会
- 第三位 第1町会



# 水生昆虫観察会

8月19日(金)に「水生昆虫観察会」が内田公民館で開催され、小学生を中心に24人が参加しました。



▲大きなカニ捕まえたよ!



▲塩沢川で採集中



▲調査結果を発表しました!



▲生き物を種類ごとに分けて観察

「松本ホテル学会」代表の藤山静雄氏(信州大学理学部 特任教授)から環境と生き物に関するお話を聞いた後、塩沢川で水生生物を捕まえて公民館で観察を行いました。捕まえた生き物をバットに空けて種類ごとに分け、名前前

## 子どもたちの感想の一部を紹介します。

めずらしいいきものがいて、名前がわからないいきものもいてかんさつしたらへんないきものもいたのでびっくりしました。

いろいろの虫がいてよかったです。ヘビトンボがみれてよかったです。

カニがかわいい。近くで見るとまるさかわれない。あるかさせるとうぐずかしたい。なんだかハサミがこわくてさわれませんでした。

幼虫か成虫か、見つけた場所(草の上、土の中、水の中など)、数を調査票にまとめました。虫眼鏡、顕微鏡で観察し、特徴をとらえ、生き物の名前は、図鑑を使って調べました。サワガニ、プラナリア、カゲロウの幼虫が多く取れ、ヘビトンボの幼虫の人気が高かったです。

## 打上げ花火

8月14日(日)の実施が実行委員会で決定していた「内田ササラまつり」ですが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、開催2週間前に今年度も中止の判断となりました。

交通安全協会、消防第21分団にご協力いただき打上げ花火のみ実施され、内田地区のみなさんや帰省されていた方々もご自宅から楽しんでいただけました。

後日、みなさんからそれぞれのスポットで撮影した花火を見せてもらいました。



▶地区の方が撮影

## イベント中止

「東南ブロック球技大会」と「第59回内田地区大運動会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

## つれづれ編集記

ソロキャンプ、去年ぐらいからテレビやニュースでも話題にもなり、皆さんもご存知だと思えます。私もそのブームに乗った一人です。

日々仕事や家の事などで忙しく、年に二回ぐらいしか行けません。自然の中でゆっくり過ごす時間、火を焚き、料理を作り、酒を飲む、周りを気にせず自分の好きなように過ごす時間、心も体もリフレッシュでき、本当に幸せな一日になります。

興味がある人は、本当にオススメです。私はソロキャンプを始めるまで料理と言う物をしたことがありませんでした。

キャンプで料理を作るようになります。自分が食べたい物の作り方を調べて作って行くうちに、料理を作るのがもう一つの趣味になりました。

今では毎週日曜日の夕ご飯

は、私が作るようになりました。

第9町会  
下川 拓摩

